

第12回南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞受賞者について(小学生部門)

賞名	推薦種別	所属校氏名	学年	受賞理由	
				研究テーマ等	研究発表・コンテスト等での成績
最優秀賞	個人	福井市 中藤小学校 寺田 拓真	6	ムクドリのねぐら調査 part2 ムクドリのねぐらの場所や、ねぐら入り・ねぐらからの飛び立ちの時刻とよすを解明する研究である。定期的な観察をもとにムクドリの行動を自分なりに分析した。小学生のレベルを大きく超える素晴らしい調査であることが高く評価された。	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 最優秀賞(R2) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R2) ・全国児童才能開発コンテスト(科学部門) 全国連合小学校長会 会長賞(R2) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R1) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R1)
優秀賞	個人	福井市 日之出小学校 乾 達矢	6	虫の苦手なぼくに蚕が教えてくれたこと ～クワコ・蚕の飼育と再生医療への応用の可能性～ 日常の何気ない事柄からの疑問に対して実験したり、専門家のところに向いて調査したりするなど積極的である。小学生らしい日常の現象に対する「なぜ？」から始まる探究心が評価された。	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R2) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R2) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R1) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R1) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(H30) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(H30)
奨励賞	グループ	鯖江市 神明小学校 牧野 蒼空 森本 景介 山田 悠介	6	ふくい理数グランプリ <理科部門> 最優秀賞 「ゴムの元にもどろうとする力」というテーマで「最速の条件を見つけよう！」という課題に対して、仮説を立て、科学的根拠に基づいて検証し、その思考の流れについて分かりやすく発表を行ったことで、最優秀賞を受賞した点が大きく評価された。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくい理数グランプリ<理科部門> 最優秀賞(R2) ・WRO Japan 2019 福井県大会(森本、牧野) 優勝(R1) ・WRO Japan 2018 福井県大会(森本) 優勝(H30) ・WRO Japan 2018 全国大会(森本) 6位(H30)
奨励賞	個人	坂井市立 大石小学校 小林 大湖	5	家の中でも飛ばせるブーメランの研究 夏休みの友のブーメランを作って飛ばしたが、予想通り飛ばなかったことから、さまざまなブーメランを自作して実験した。羽の幅や長さや飛び方の関係から、羽の重さや形と飛び方との関連性についての疑問を持ち、多くの検証実験を構想し探究した点が高く評価された。	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R2) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R2) ・全国児童才能開発コンテスト(科学部門) 財団科学賞(R2)
奨励賞	個人	坂井市立 鳴鹿小学校 清水 彩帆	6	カラスと私のソーシャルディスタンスを測る R元年度の実験でカラスが紫外線センサーを持つことを知り、R2年度は自分が着ている服の色によって、カラスに近づける距離が変わるのではないかと予想し、実験を行っている。多くの実験を行い、その結果をヒストグラムで整理した点が評価された。	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R2) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R2) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優良賞(H30) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(H30)